

「2025年日本国際博覧会 情報通信インフラ整備業務委託」 事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者から提案のあった内容について、5名の選定委員会委員による審査を行い、契約候補者を選定しました。なお、審査にあたっては、令和4年11月29日に事業予定者選定委員会を開催し、選定委員会委員による採点を行いました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案事業者（契約候補）

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 評価点 911点

(2) 提案事業者（五十音順）

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

2. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- ・運用管理体制・考え方が明確であり、大阪・関西万博の円滑な運用が期待できる。
 - ・大規模な案件の実績が多数あり、堅実な提案内容のため、安定的なプロジェクトの遂行が期待できる。
 - ・開催準備の繁忙期や開催期間中の非常時などでも迅速な対応が行えるよう、構築担当者を保守担当者へ配置する運用保守体制にするなど、構成をよく把握した提案となっている。
 - ・国際イベントの開催経験が豊富であり、パビリオンから求められる情報については日本語に加えて英語でも準備するなど参加各国への配慮がみられる。
- また、資格や経験のある人材を適所にアサインするなどの内容を提案しており、本プロジェクトを遂行する能力を十分に有しているものと考えられる。

3. 選定委員会委員（敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
門林 雄基	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 サイバーレジリエンス構成学 研究室 教授	NW 機器やソフトウェア等の部品レベルの信頼性や安全性に注目したアプローチに加えて、実働システムにおける被害軽減技術や、利用者やサービス提供事業者のミスを考慮した安全運転支援技術に対し研究をされており、NW の技術だけでなく、サイバーセキュリティ、サイバーレジリエンスなどの側面から審査をいただくため。

荒川 伸一	大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授	大規模、かつ分散制御型の光バスネットワークや光パケットスイッチネットワーク、光バスネットワークと光パケットスイッチネットワークを統合した適用形態について研究されており、NW の技術的な側面から審査をいただくため。
板倉 弘典	国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 総合企画室 共通基盤グループ 主任研究技術員	ネットワーク・サーバの設計・構築・運用業務の研究をしており、各種ネットワークプロトコルをはじめネットワーク技術についての実学的な知識に加え、情報通信インフラにおける課題などの側面から審査いただくため。
三角 育生	東海大学 情報通信学部長 教授	情報セキュリティ、サイバー攻撃等が専門分野。IT 環境の急激な変化にも対応できる最新のセキュリティの専門家としての観点を中心に総合的に審査頂くため。
阿多 博文	弁護士法人興和法律事務所 弁護士	2025年日本国際博覧会協会において、法務担当弁護士に選任されている。 (コーポレート、規則・内規制定、契約・取引関係) 協会の契約や内規も充分熟知していることから、今回の公募選定委員会の外形的公平正担保の確認および承認について審査していただくため。